

試験科目(論文)

受験番号	番
フリガナ	
氏名	

I 次のA・Bから日本史専攻希望者はA(1~4)を、東洋史・西洋史専攻希望者はB(1~4)を、それぞれ選択して、空欄①~⑳に適切な語句を入れよ。

A.

- 日本古代における武士の台頭の様相は、10世紀後半に相前後して起こった反乱事件に端的にみることができる。例えば平将門は下総の猿島を拠点に(①)・下野・上野の国府を攻め落とし、関東の自立的な勢力となりつつあった。しかし(②)らの同族の武士や藤原秀郷らの地方武士によって滅ぼされてしまった。同じころ、かねて海賊を率いて瀬戸内海に威をふるっていた(③)も、乱をおこして伊予国府や大宰府を襲い、先の将門の乱とあわせて京都に大きな衝撃を与えたが、清和天皇の皇子を父に持つ(④)や地方武士を中心とする征討軍によって、追討された。この二つの乱は京都の威信を傷つけた一方で、武士団の組織化も進むこととなった点で注目される。これらの乱をあわせて、元号によって(⑤)の乱と呼ぶ。
- 応仁の乱後、8代將軍足利(⑥)は京都の東山に山荘を設けた。この東山山荘の建築のうち、銀閣(観音堂)と東求堂が現存している。東求堂の一隅には、(⑥)の書斎であった四畳半の部屋があり、(⑦)と呼ばれている。そこには、違い棚、つくり付けの机、明障子などが設置されている。こうした住宅様式を(⑧)といい、近代の和風住宅の原型となったことで知られる。(⑧)の住宅や禅宗寺院につくられた庭園の様式としては、岩石と砂利を組み合わせて象徴的な自然をつくり出した(⑨)が代表的である。この時期、絵画では、土佐光信が出て土佐派の基礎を固め、狩野正信・(⑩)父子が水墨画に伝統的な大和絵の手法を取り入れ、狩野派をおこした。
- 江戸時代にはふたりの女性天皇がいる。ひとり目は(⑪)天皇で、(⑫)天皇と、徳川秀忠の娘和子との間に生まれた。(⑫)天皇は、幕府に届け出なく住持に(⑬)着用を勅許したことで問題となり、これに抗議した大徳寺の(⑭)が処罰された。ふたり目は桃園天皇の急死をうけて、即位した(⑮)天皇である。
- 1918年、東京帝国大学の教授であった(⑯)の指導の下に、東大(⑰)会が結成された。同会に参加していた経歴を持つ野坂参三や棚橋小虎らは、1912年に(⑱)らによって創立されていた労働団体の友愛会に参加し、同会の労働組合としての性格を強めた。そして、同会は1919年に(⑲)友愛会と改称し、その後1921年には(⑳)と改称して、資本家に対しストライキなどの直接行動で戦う階級闘争主義に転換した。

B.

- 唐が滅亡してから華北には五代とよばれる5つの王朝が興亡した。その内、洛陽に都した(①)を除き、他の4王朝では(②)が都とされた。五代最後の王朝である後周を滅ぼして宋を建国した趙匡胤(太祖)も、(②)に都を定めた。宋は唐末から武断政治を展開していた武人・節度使を解体し、官僚制を強化して(③)政治を推進した。その一方で、軍事面では皇帝の近衛軍である(④)を強化して正規軍とし、枢密院がこれを管轄した。また皇帝自らが試験官となる科挙の最終試験である(⑤)を設置し、中央集権化を進めた。
- 朝鮮王国第26代の王高宗の父で摂政の地位にあった(⑥)は、国政改革や鎖国攘夷策を推進したが、高宗の王妃である(⑦)の一派によって失脚した。(⑦)は、当初日本に接近していたが、のちに親清政策に転じ、(⑥)が一時復活した旧軍による(⑧)やその後におこった(⑨)派による甲申政変でも清の援助で政権を維持した。しかし、(⑩)党の乱を機におこった日清戦争で清が敗れると、(⑦)はロシアに接近して勢力を回復し、日本を排除しようとしたことにより、官中で殺害された。
- 前7世紀中頃までにエジプトを含む全オリエントを初めて統一したのは、(⑪)人であった。しかし、強制移住政策などの苛酷な統治が服属民の反乱を招き、その帝国支配は短命に終わった。(⑪)帝国崩壊後は新バビロニア、(⑫)、リュディア、エジプトの4王国が分立したが、(⑫)に服属していたペルシア人の王(⑬)が(⑫)を滅ぼして(⑭)朝を建国し、リュディアと新バビロニアも征服した。(⑭)朝はその後エジプトも併合して全オリエントを再統一し、第3代王(⑮)の時にはエーゲ海沿岸からインダス川流域にいたる大帝國となったが、征服した諸民族に対しては寛容政策を基本とした。
- 産業革命がさまざまな社会問題・労働問題を発生させると、その克服と理想社会の実現を目指す社会主義の思想が登場した。紡績工場経営者として労働者の生活改善に尽力したイギリスの(⑯)は、アメリカでの理想的共産社会設立の試みには失敗したものの、帰国後は生活協同組合を提唱し、全国労働組合大連合の結成に尽力した。フランスには、生産や消費を共同で行う団体「フェアランジュ」の設立を説く(⑰)らが現れた。これら初期社会主義者の理論を「空想的社会主義」と規定したのは、ドイツの社会主義者で1848年刊行の『(⑱)』を共同執筆した(⑲)と(⑳)であった。(⑲)は1864年に結成された第1インターナショナルの創立宣言と規約も起草した。

採 点 欄

採 点 欄

II 次のうち、日本史専攻希望者は1~4の中から、東洋史・西洋史専攻希望者は5~8の中から、それぞれ一問を選択し、論述せよ。

- | | | | |
|-----------------|-------------|--------------|--------------|
| 1. 律令的租税の特徴について | 2. 鎮西探題について | 3. 足高の制について | 4. 新婦人協会について |
| 5. 易姓革命について | 6. 鄭和について | 7. ポエニ戦争について | 8. シオニズムについて |

III 専攻希望分野を、下記の中から選んで丸をつけよ。

日本考古学	日本古代史	日本中世史	日本近世史	日本近現代史
東洋史 (物質資料)	東洋史 (文献史料)	西洋前近代史	西洋近代史	西洋現代史
